



じょや 除夜のかねは、なぜ108ならすの

にんげん 人間には108のよくがある

人間は、誰でも108のぼんのう（よくにつながるなやみ）をもっています。つまり、めみみはな、したなど、体の18の部分で、見たい、聞きたい、食べたいなどのぼんのうがおきてくるのです。

これらのことには、よい面と悪い面の両方がありますから、18の2倍、すなわち36のぼんのうとなります。さらに、そのひとつひとつは、過去、現在、未来の三つの面がありますから、36の3倍で108のぼんのうとなるのです。

のぞ よくを除くためにつく

じょや除夜のかねは、おおみそかの夜12時ちかくから、それぞれのお寺でつき始めます。その音をきいて、人間がもっているぼんのうを追い出して、よくをとり除こうというわけなのです。

こうして清い気持ちで新年を迎えるというのです。

てらお寺のかねには、にんげん人間のぼんのうを表す108のいぼがついています。

（監修・保岡 孝之）

